

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 3812
部 名	消防本部	課 名	警防課		課長名 鈴木 久道
事務事業名	消防車両維持管理事業				
予算上の事務事業名	消防車両維持管理費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23130	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防組織表、道路交通法、車両運送法等				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
災害出場及び各種業務で運用する消防車両等を適正に維持管理することを目的とする。					市民
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。	常備消防車両139台の継続検査、法定点検等車両修繕、保険料及び燃料費について、適切かつ効率的に維持管理を実施した。 ※現有消防車両数 (計139台) 消防車39台 特殊車28台 救急車20台 その他52台				
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体も同様な目的、内容で実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	59,247	41,100	45,303	61,786	61,786
一般財源	48,973	41,100	45,303	61,786	61,786
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	10,274	0	0	0	0
人件費の合計	8,010	8,070	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	67,257	49,170	53,353	69,836	69,836
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	消防車両維持管理事業			対象名称と単位	消防車両数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	67,257	49,170	53,353	69,836	69,836
対象数	102	102	139	140	140
単位あたり経費(円)	659,382	482,059	383,835	498,829	498,829
前年度比		0.73	0.80	1.30	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	消防車両維持管理数（台）	指標式と指標の説明	消防車両を維持管理した数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	102.0	102.0	139.0		
目標	102.0	102.0	139.0	140.0	140.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	火災の不燃焼率（%）	指標式と指標の説明	不燃焼火災／火災発生件数×100 火災を延焼させない割合		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	233.0	218.0	208.0		
目標	253.0	234.0	211.0	211.0	211.0
目標達成度（%）	92.1	93.2	98.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		昨年度、津久井町、相模湖町との合併に伴い、津久井郡広域行政組合消防本部が解散し、新たに相模原市消防本部に統合された。これによって、消防車両の数は増え、そのため市民の生命、身体及び財産を保護する我々消防職員にとって必要不可欠な消防車両の維持管理については、とても重要な事業である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
消防事務の特性から民間活用は困難である。緊迫する市の財政の中で、消防車両の維持費について厳しい状況であるが、法令点検、緊急性の高いものから積極的に修理し、消防活動体制の万全を期する。			今後、虚報、いたずら及び常習犯の119番通報の出場対応のあり方を検討するとともに、消防車両のメンテナンス計画や資機材のメンテナンス計画が課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		車両の適正な維持管理に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			